



2020年(令和2年)9月号

中野区立江原小学校 学校便り

校長 根来 郁明 児童数512名

### 学校教育目標

自立し、共に生き、平和を求める子  
『かしこく』『やさしく』『たくましく』

## 「安心・安全な学校」を目指して…

校長 根来 郁明

学校は、子どもたちが安心して通うことができる安全な場所でなければなりません。9月1日の『防災の日』を迎え、地震や台風等の災害についての危機意識を高めるとともに、熱中症や新型コロナウイルス感染症への対応についても考えていきます。

### 1 想定できることに対応する

学校では、新型コロナウイルス感染症予防のため、常にマスクを着用しています。しかし、気温や湿度が高い日の登下校や体育の授業では、新型コロナウイルス感染症よりも熱中症の予防を優先する必要があります。暑さで息苦しいと感じた時には、マスクを外す、一時的に片耳にかけて呼吸を整える等、自分の判断で適切に対応できるようになって欲しいと思います。

熱中症の予防が優先するとは言え、新型コロナウイルスの感染リスクを避ける対応が必要になります。登下校時は集団を避け会話を控えること、体育の授業では一人ひとりの間隔を十分確保すること(新しい生活様式を踏まえた学校の行動基準では身体的距離を2m程度と示されていますが、現状としては1m以上確保するように努めています。)が必要になります。

東京都や中野区の現状では、どんなに感染症対策を徹底したとしても新型コロナウイルス感染症の感染リスクをゼロにすることはできません。毎日の健康観察はもちろん、家族に発熱や咳の症状がある場合は登校を控える、不要不急の外出を控える等、校内にウイルスを持ち込まない対応が必要になります。各家庭のご協力をお願いいたします。児童や教職員の感染が確認された場合は、中野保健所の指示を受け、濃厚接触者の特定や検査に必要な日数によって臨時休業になることが想定されます。(濃厚接触者に該当する児童には、保健所から個別に当該の家庭に対して連絡があります。感染者の学年・組、濃厚接触者に該当するかどうかについては、人権への配慮、プライバシー保護の観点からお答えすることはできません。)

### 2 想定外に対応する

学校には、「3つの密」を避ける、「マスクの着用」及び「手洗いによる手指の衛生」等、感染症対策を継続すると同時に、可能な限り授業や行事等の教育活動を行い、児童の学びを保障する責務があります。6月の登校再開以降、年間指導計画の変更、夏季休業日の短縮、土曜授業の増加等、年度内に現学年の学習内容を終える努力を続けています。しかし、新型コロナウイルス感染症が終息する様子は見られず、感染リスクが高いという理由で先延ばしにしてきた教育活動を行わざるをえない状況になっています。

今までと同様の感染症対策で、感染リスクが高いという理由で制限してきた教育活動を行うことはリスクが生じます。しかし、いつになったら新型コロナウイルス感染症が終息するのかを想定できない以上、9月以降、さらには次年度へ向け、可能な限り感染症対策をした上で、制限していた教育活動を少しずつ再開していきたいと考えています。

感染リスクが高い教育活動として、対面での話合い活動やペア学習、密集して長時間活動するグループ学習、狭い空間や密閉状態での歌唱、リコーダーや鍵盤ハーモニカの演奏、調理実習、密集や身体接触が多い運動等、が挙げられています。それぞれが、各教科固有の学びを保障する上で大切な教育活動です。児童の「密接」「密集」「近距離での活動」「向かい合っでの会話・発声」については、一定の距離を保つ(1m以上)、同じ方向を向く、回数や時間を制限する等、工夫をして実施していきます。また、「器具や用具を共用する活動」については、軍手等の着用や使用前後の手洗いを徹底していきます。

夏休みは、子どもたちがとても成長する時期です。その成長した姿をしっかりと受け止め、前期のまとめをしていきます。9月以降も、保護者や地域の皆様のご協力をいただき、さらに成長できる学校づくりをしていきます。引き続き、江原小学校の教育活動へのご協力をよろしくお願い申し上げます。